

平成 28 年度 第 2 回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会 議事要録

1. 日時 平成 29 年 3 月 13 日 (月) 15:15 ~ 16:30
2. 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2 階 研修室
3. 出席者 整備委員：11 名
上原真人委員長、山下晃副委員長、石上英一委員、箱崎和久委員、平野吾郎委員、加藤文重委員、草地博昭委員、澤元教哲委員、小杉達委員、小柳貴臣委員、林浩巳委員 (中島義晴委員は欠席)
- 助 言：静岡県教育委員会文化財保護課 (欠席)
- 事 務 局：村松教育長、秋野部長、高梨課長、村松課長補佐、竹内主幹、山内主査、安藤囑託
- 傍 聴：なし

4. 会議要旨

- (1) 開 会
- (2) 磐田市教育長あいさつ
- (3) 整備委員会委員長あいさつ
- (4) 議 事

〔1〕整備基本計画について

整備基本計画書及び概要版

- ・当日刊行した整備基本計画書とその概要版 (整備基本計画のあらまし) を各委員に配布した。
- ・事務局から、概要版は 3,000 部印刷し、市の施設等において一般配布することを説明した。

パブリックコメント

事務局から、11 月 15 日 ~ 12 月 15 日に寄せられた基本計画 (案) に対してのパブリックコメント 5 件の意見と回答の概要を説明した。

< 意見 1 > AR (古代の建物の画像が現れる) について、スマートフォンやタブレットが使えない場合があるので、案内看板へ CG 画像を描いてほしい。

(回答) 画像や写真でわかりやすい案内看板にしたい。

< 意見 2 > 市役所本庁舎の 6 階の議会場を展望室にして、国分寺跡が見えるようにし、展望室や庁舎内に出土品や資料を展示してほしい。

(回答) 本庁舎に展望室を設けることは困難だが、現在行っている国分寺跡展望ツアーを継続し、多くの方に見てもらおう機会をつくりたい。

< 意見 3 > 「遠江国分寺史跡資料館」を建設してほしい。建設場所として、府八幡宮向かいの築地堀建設予定地、または現在の国分寺の位置を移転して、そのお堂や集会所がある場所が考えられる。

(回答) 国分寺に特化した資料館を建設する予定はない。また、資料館施設については、国が史跡指定地内での建設を認めていない。今回の整備対象地はすべて史跡指定地で、現在の国分寺のお堂や集会所がある場所も史跡指定地であるため、建設できない。

<意見4> セミナー等が開ける集会施設を建設してほしい。プロジェクションマッピングなど、映像や照明を使うことができるようにしてほしい。

(回答) 建設する予定はない。こうした施設も史跡指定地内での建設は認められていない。

<意見5> ワークピア駐車場にある「万葉歌碑」を附属施設あたりに移設したい。

(回答) 「万葉歌碑」にある和歌を詠んだ桜井王が遠江国分寺に関わったことを示す史料がないことから、歌碑の移設は考えていない。

関係団体等への説明

説明を行った際に出た意見等について、事務局から説明した。

a. 自治会

- ・CG画像を活用してほしい。
- ・市役所へ展望室を設置してほしい。
- ・樹木が鬱蒼として治安・防犯上問題があるため、木を整理して明るくしてほしい。

b. 国分寺まつり実行委員会・プロジェクト7

- ・資料館を建設してほしい。
- ・塔など歴史的建造物の復元要望。
- ・国分寺模型を修正してほしい

c. 国分寺薬師奉賛会

- ・跡指定地内での薬師堂存続。新築ないしは現建物の修理・曳家の要望。
- ・所有地西側部分の公有地化

d. 明るい社会づくり運動磐田地区協議会、花の会（花壇管理団体）

- ・整備の情報の提供、
- ・代替え花壇の要望
- ・樹木の整理

e. 少年補導センター

- ・防犯対策をしてほしい。(樹木整理・防犯カメラ設置)

【意見・質疑】

委員 国分寺模型の修正とは？

事務局 模型は昭和50年代に製作したが、古い資料に基づいたものであるため、伽藍地の大きさが違っている。

委員 資料館を建設して欲しいという意見で、できないと回答しているが、国分寺に係わる資料を展示する場所はどこを考えているのか？

事務局 国分寺に限らないが、埋蔵文化財センターにも一部展示はしている。常設的に展示をする場所がないことから、継続して埋蔵文化財センターで一部展示するほか、企画展等で展示をしながら市民の皆さんに興味を持っていただき、ご理解いただくようにしたい。国分寺以外にもたくさん磐田市は所蔵していることから、将来的にはそういう施設の整備を検討していきたい。

委員 パブリックコメントに対する答えが、みんなマイナーな方に話が行っている。むしろ「常設的には埋蔵文化財センターでやっていますのでいらしてください。」とか「図書館で企画展をやりたいと思います」とか、そういうことを書けば、意見を述べた方も前向きな気持ちになれるのでは、と思う。整備に関して、是非国分寺展を開いてほしい。

事務局 29年度に調査を現場で行うので、その折に市民の皆さんに現場を見ていただくようにしたい。また、10月に「全国軽トラ市」が磐田市で行われ、国分寺まつりもその日に開催する。文化財課としてもまつりに参加しているので、広くPRしていきたい。

委員 こういう整備方針になりましたということから、国分寺まつり実行委員会・プロジェクト7は、それでも資料館や塔を造ってくれと言っているのか、それともまた違うところとかやり方を変えてとか、どういうニュアンスでこのご意見が出ているのか？また、それに対応した当局としての考え方は？

事務局 国分寺まつり実行委員会・プロジェクト7との話し合いの中では、基本計画自体は、十二分に理解していただいていると考えている。資料館や国分寺の七重の塔を現地に建てるというのは、現状では難しいことも理解していただいていると思っている。会としての元々の思いはあると思うが、その思いは別として、今回の整備計画に対する色々な協力については前向きに考えていただいていると認識している。

〔2〕 今後の遠江国分寺跡整備事業について

平成29年度の主な事業予定

事務局から資料に基づいて、事業予定を説明した。

- (1) 現況測量及び基本設計（国庫補助事業、ただし補助金が40%位カット）
- (2) 再整備に係わる発掘調査
 - ・基壇復元に係わる確認調査、
 - ・便益施設（トイレや四阿）を造る場所の遺構有無等の確認調査
- (3) 指定地内にある国有無番地（畦畔等）の扱いの調整
- (4) 未買収地の公有地化準備
- (5) 整備委員会及び専門委員会の開催（2回）
- (6) 社会科の副読本を中学1年生向けに印刷
- (7) 国分寺まつりへの参加（10月29日）

【意見・質疑】

委員 発掘調査についてそれぞれどういう意味があるかももう少し詳しく説明を。

事務局 9箇所トレンチ（試掘坑）を掘り、3箇所は便益施設を予定する場所の遺構有無等の確認、2箇所は基壇復元設計のための確認、2箇所は既存のコンクリートの施設と遺構等との兼ね合いの確認、2箇所が遺構の位置を表示するための確認を目的に調査を行う。

委員 発掘はこれで最後になるのか。

事務局 今後設計をやっていく中で、新たな課題が出てくるという可能性もあり、わからない。

委員 毎日の生活の基本となる井戸とトイレをなんとか探してほしい。

委員 聖域にはそうしたものは造らないので、北側にあるのではないか。

事務局 井戸やトイレはこれまでの発掘調査では見つかっていない。井戸については、近代の井戸はあるが、10数メートル掘らないといけない。

委員 来年度の再整備に係る測量と基本設計について、当初1,200万円を計画していたのが、40%カットになったということだが、何を何処までという今のところの計画は？

事務局 測量は行い、基本設計のうち建物（便益施設）の基本設計については次年度に、ということになる可能性がある。

現国分寺について

事務局からこれまでの経過を報告し、今後の取り扱いについて協議した。

- ・指定地内にある現国分寺についてはこれまで移転をお願いしてきた。
- ・しかし、近くに移転候補地がないということで、地元で管理している団体から、所有地(指定地)内で建て替えをさせてもらえないか、という要望があった。
- ・前回の整備委員会でも、国分寺の名前を伝え、薬師信仰を伝えている現国分寺の建物(薬師堂)を何とか残すことができないかという意見があった。
- ・薬師堂の調査をしたところ、建築年代は昭和の初めで、明治になって国分寺が廃仏毀釈によって廃寺となっていたのを、大正の終わりに尼僧が地域の方を動かし、浄財を集めて現薬師堂を再興したとの記録とあう。ただし、その後増改築されている。
- ・江戸時代には、薬師堂を建てるのに中泉代官が関わったとの記録もある。
- ・屋根は大分傷んでいるが、柱などはしっかりしていて、曳家に十分耐えられるだろうということ、また、改修するところも出てくるので、その中で耐震補強をすれば、建物として十分持つとの所見ももらった。
- ・一方で、管理団体の方との協議では、所有地の公有地化(買上げ)と建て替えないしは曳家の希望もでた。
- ・実現すれば、少し木を整理すると展望が非常に良くなり、東側の県道からも見通しが良くなる。
- ・何故曳家かというのは、指定地の中での建て替えになると、文化庁の許可がないのではないかということで、現存する建物を曳家して改修をするということであれば、許可が貰えるのではないかということである。
- ・3月15日に文化庁の文化審議会の視察があるので、その時に現地を見てもらい、説明をする。
- ・絵図等に記録されている江戸時代の薬師堂と今の薬師堂は位置が異なっている。このため曳家して場所が変わっても問題ないと考えられる。

写真(パワーポイント)を使って説明。

【意見・質疑】

委員 補足したい。国分寺は遠江の一番霊場で江戸時代の薬師像は薬壺が大きい。薬師堂には大きく綺麗な金色の絵馬もある。御詠歌が書かれたものや『薬師参詣功德日』の額というものもある。薬師信仰は江戸時代中期の享保17年に始まったと記録されていて、薬師信仰がさかんに行われていたことがわかる。

委員長 どうなるかわからないが、文化庁にそういう形で許可をもらうというように動きましょう。整備委員会としては、委員会全体の総意として、薬師堂を残していくという方向でお願いします、ということでしょうか？

委員全員了承